

# IR資料

-2026年3月期 第3四半期-

2026年2月9日

ニプロ株式会社

2025年度3Q 業績サマリー & TOPICS	3
2025年度3Q 業績	4
販売費および一般管理費 主要科目	5
研究開発費	6
設備投資額・減価償却費	7
セグメント売上高・セグメント利益	8
①医療関連セグメント（国内）売上高	9
①医療関連セグメント（国際）売上高	10
②医薬関連セグメント 売上高	11
③ファーマパッケージングセグメント 売上高	12
Appendix	
為替レート/為替感応度/製品分類表	14
セグメント別・製品群別の売上高	15
セグメント別・地域別の売上高	16
製品別売上高	17,18

## 売上高

- 医療セグメントでは、海外市場のダイアライザが堅調に拡大したことに加え、B2B事業では高付加価値製品への強い需要が続いており、強みを持つ分野での成長が継続。医薬セグメントは前年並みを維持。ファーマパッケージングセグメントにおいては欧米にて低調に推移。連結売上高は前年対比で80.2億円増加。
- 国内外ともに価格競争の激しい領域では無理な数量追求を控え、利益重視の経営方針を推進。

## 営業利益

- 人件費や物流費の上昇などによるコスト増は継続したものの、原材料費の減少や、価格転嫁等の適正価格での販売が進む。
- 利益重視の経営方針の下、売上総利益が改善し、事業成長とコスト改善が両立する経営体質への転換が進展。

## TOPICS “医療のニューノーマル”創出に向けた取り組み

### 世界初<sup>※1</sup>の脳血管内（Neuro）OCTイメージングシステム（nOCT）の治験開始

- 新たに子会社となったSpryte社のnOCTが、FDAから米国内での治験許可を取得（IDE<sup>※2</sup>）。同製品は既にFDAから革新的かつ有望な製品として、市販化まで支援する枠組みにも認定。（BDD<sup>※3</sup>およびTAP<sup>※4</sup>）
- 当局の強力な支援の下、脳動脈瘤治療の精度向上に資する革新的技術の上市に向け、大きく前進。

### 再生医療等製品「ステミラック注」の本承認申請

- 「ステミラック注」の本承認申請を厚労省へ提出（2025年11月14日）。脊髄損傷に伴う機能障害改善に資する新規治療の確立を志向。
- 臨床で蓄積した安全性・有効性の科学的根拠を基盤に、将来的な価値創出に向け着実に前進。

※1 Scienceで世界初の技術として掲載

※2 Investigational Device Exemption：医療機器の臨床試験の実施許可

※3 Breakthrough Device Designation：既存治療より有望な技術に対して付与されるFDAの特別指定

※4 Total Product Life Cycle Advisory Program：開発初期から市販化・保険償還までの包括支援

# 2025年度3Q 業績

	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	為替影響を除く 増減額 (増減率)	2025年度 通期予想	四半期別業績推移				
						2024年度		2025年度		
						3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	4,792.8	<b>4,873.0</b>	+80.2 +1.7%	+123.4 +2.6%	<b>6,770.0</b>	1,672.6	1,653.0	1,592.2	1,581.6	<b>1,699.2</b>
売上原価	3,335.5	<b>3,360.0</b>	+24.4 +0.7%	+62.2 +1.9%	<b>4,710.0</b>	1,158.8	1,201.4	1,090.6	1,081.9	<b>1,187.3</b>
売上総利益 (※1)	1,457.2 30.4%	<b>1,513.0</b> 31.0%	+55.7 +3.8%	+61.2 +4.2%	<b>2,060.0</b> 30.4%	<b>513.8</b> 30.7%	<b>451.6</b> 27.3%	<b>501.5</b> 31.5%	<b>499.6</b> 31.6%	<b>511.8</b> 30.1%
販売管理費	1,235.1 25.8%	<b>1,245.5</b> 25.6%	+10.3 +0.8%	+23.2 +1.9%	<b>1,690.0</b> 25.0%	<b>426.3</b> 25.5%	<b>407.6</b> 24.7%	<b>429.4</b> 27.0%	<b>418.3</b> 26.5%	<b>397.7</b> 23.4%
営業利益	222.0 4.6%	<b>267.4</b> 5.5%	+45.4 +20.5%	+38.0 +17.1%	<b>370.0</b> 5.5%	<b>87.4</b> 5.2%	<b>43.9</b> 2.7%	<b>72.1</b> 4.5%	<b>81.2</b> 5.1%	<b>114.0</b> 6.7%
経常利益 (※2)	140.0 2.9%	<b>176.0</b> 3.6%	+36.0 +25.7%	- -	<b>242.0</b> 3.6%	<b>95.1</b> 5.7%	<b>▲31.9</b> ▲1.9%	<b>35.1</b> 2.2%	<b>47.1</b> 3.0%	<b>93.7</b> 5.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	65.9 1.4%	<b>166.8</b> 3.4%	+100.8 +153.0%	- -	<b>129.5</b> 1.9%	<b>64.6</b> 3.9%	<b>▲14.8</b> ▲0.9%	<b>32.7</b> 2.1%	<b>26.3</b> 1.7%	<b>107.7</b> 6.3%

(※1) 売上総利益への 未実現利益の影響額
2024年度3Q ▲19.3億円
2025年度3Q +11.4億円
(※2) 為替損益
2024年度3Q ▲14.0億円
2025年度3Q +16.0億円

**売上高** | 海外医療関連事業において、ダイライザの販売が米州、欧州、中国にて好調。  
またB2B事業において、安全機構付き採血セットの販売増加もあり、前年対比で80.2億円増加。

**売上総利益** | 労務費が増加したものの、価格転嫁や、品目整理、原材料費が減少したことにより、前年対比で55.7億円増加。

**営業利益** | 国内外で人件費が増加したほか、北中南米・欧州における運賃の増加により販売管理費は増加したものの、販売増に加え、売上原価の上昇を抑制できた影響が大きく、前年対比で45.4億円増加。

**経常利益** | 持分法による投資損失と支払利息が増加した一方、為替差損益が30.0億円改善したことで、前年対比で36.0億円増加。

**当期純利益** | G2/Spryte社の段階取得に係る差益で51.6億円の特別利益を計上したこと等により、前年対比で100.8億円増加。

# 販売費および一般管理費 主要科目

単位:億円	2024年度 3Q	2025年度 3Q		増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
		実績	構成比		
人件費	406.1	422.7	33.9%	+16.6 +4.1%	<b>565.3</b> 74.8%
研究開発費(※1)	160.5	159.4	12.8%	▲1.1 ▲0.7%	<b>208.2</b> 76.6%
運送費	118.7	127.2	10.2%	+8.4 +7.1%	<b>176.9</b> 71.9%
償却費(※2)	115.3	106.3	8.5%	▲8.9 ▲7.8%	<b>155.1</b> 68.6%
支払手数料(※3)	75.1	76.8	6.2%	+1.7 +2.3%	<b>109.7</b> 70.0%
販促費(※4)	62.5	65.2	5.2%	+2.7 +4.4%	<b>84.1</b> 77.6%
旅費交通費	34.5	36.6	2.9%	+2.0 +6.0%	<b>51.3</b> 71.4%
保管料	30.0	31.9	2.6%	+1.8 +6.2%	<b>39.0</b> 81.9%
上記以外の科目	232.1	219.1	17.6%	▲13.0 ▲5.6%	<b>300.4</b> 72.9%
合計	1,235.1	<b>1,245.5</b>	100.0%	+10.3 +0.8%	<b>1,690.0</b> 73.7%

- (※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費  
(※2) 減価償却費・のれん償却費  
(※3) 支払手数料・顧問料  
(※4) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

**人件費** | 国内外で従業員の増加やベースアップ等の影響により、前年対比で16.6億円増加。

**運送費** | 北中南米・欧州における販売増加に伴う海外運送費の増加により、前年対比で8.4億円増加。

**販促費** | 大阪・関西万博のパビリオン出展費用等により、前年対比で2.7億円増加。

	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位:億円				
医療 (※1)	113.1	112.7	▲0.3 ▲0.4%	151.7 74.3%
医薬 (※1)	66.6	66.3	▲0.2 ▲0.4%	91.1 72.8%
ファーマ パッケージング (※1)	4.5	3.4	▲1.1 ▲24.4%	7.2 47.9%
合計 (※2)	184.3	182.5	▲1.7 ▲1.0%	250.0 73.0%

(※1) 今年度より会計基準における研究開発費の定義に基づき集計方法を改めたため、前年度の数値も修正しています。

(※2) 製造原価および販売管理費における研究開発費

## ✓ 収益体質の強化を進める中でも、重点領域における成長投資の手は緩めず

- 急性期透析治療への市場参入を視野に、血液浄化装置をはじめとしたQOL向上型・高付加価値製品の開発を推進。
- バスキュラー関連において、主要血管疾患の一つである深部静脈血栓症に対し、新たな治療選択肢となる血栓除去システムの海外投入、有望市場・新規領域に向けた製品開発を加速。

# 設備投資額・減価償却費

	設備投資額				減価償却費			
	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円								
医療関連	257.3	216.5	▲40.7 ▲15.8%	336.2 64.4%	249.7	268.2	+18.4 +7.4%	388.0 69.1%
医薬関連	150.7	156.8	+6.1 +4.1%	257.2 61.0%	113.8	107.0	▲6.8 ▲6.0%	143.9 74.4%
ファーマパッケージング	61.8	38.7	▲23.1 ▲37.4%	62.2 62.3%	56.4	45.3	▲11.0 ▲19.6%	69.7 65.1%
その他	17.3	14.0	▲3.3 ▲19.1%	51.6 27.2%	37.7	36.7	▲1.0 ▲2.8%	47.6 77.1%
合計	487.2	426.2	▲61.0 ▲12.5%	707.1 60.3%	457.8	457.3	▲0.5 ▲0.1%	649.2 70.4%

## 設備投資額

医療関連は大館工場でダイアライザ新規ラインの増設、タイ工場の増産投資、米州で工場拡張や透析センター内の装置と備品に投資、ベトナム工場でダイアライザ増産に投資するなど、全体としては216.5億円となったが、前年度に大館工場や合肥工場にてダイアライザ関連の投資の大部分が完了したことで、前年対比では40.7億円減少。

医薬関連はニプロファーマ近江工場の一般製剤棟、伊勢工場の増設など全体としては156.8億円の投資をおこなったことにより、前年対比では6.1億円増加。

ファーマパッケージングは、アメリカ工場の改修、ドイツ工場とフランス工場の設備等で、合計38.7億円の投資を実施したものの、前年度はドイツのシリンジ増産投資やアメリカ工場の拡張投資、中国工場のバイアル増産投資等があったことにより、前年対比では23.1億円減少。

## 減価償却費

医療関連は、大館工場における第7工場の新設により増加したものの、医薬関連はニプロファーマの機械装置に係る償却減、ファーマパッケージングはフランスの減損損失も影響し、減価償却費は前年度並みで推移。

# セグメント売上高・セグメント利益

	セグメント売上高				セグメント利益			
	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 11月時点 (利益率)
医療関連セグメント	3,742.6	3,879.7	+137.1 +3.7%	5,334.2 72.7%	363.8	375.2	+11.3 +3.1%	533.9 10.0%
医薬関連セグメント	591.0	589.7	▲1.2 ▲0.2%	863.7 68.3%	64.9	88.1	+23.2 +35.8%	107.8 12.5%
ファーマパッケージングセグメント	451.0	394.5	▲56.4 ▲12.5%	568.0 69.5%	5.2	▲14.7 ▲3.7%	▲19.9 ▲383.6%	▲20.6 ▲3.6%

単位：億円



## 医療関連セグメント

減価償却費や労務費・人件費が増加したものの、売上高が増加したことに加え、原材料費が減少したことにより事業全体のセグメント利益は前年対比で11.3億円増加。

## 医薬関連セグメント

売上高は減少したものの、原材料価格・人件費上昇コストの価格転嫁による値上げや品目整理により利益率が向上、事業全体のセグメント利益は前年対比で23.2億円増加。

## ファーマパッケージングセグメント

売上高の減少により、事業全体のセグメント利益は前年対比で19.9億円減少。

# ①医療関連セグメント（国内）売上高

売上高	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位：億円				
国内事業	1,738.0	1,769.2	+31.2 +1.8%	2,439.8 72.5%
医療機器	878.4	901.7	+23.3 +2.7%	1,261.7 71.5%
医薬品	861.1	867.4	+6.2 +0.7%	1,178.1 73.6%

四半期別売上高推移



## 医療機器：対前期比 +23.3億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

ダイアライザ	▲6.6	ファインフラックスの限定出荷が解除されたものの、引き続き影響
注射針類	+16.3	価格転嫁など
輸液関連製品	+5.7	価格転嫁など
バスキュラー関連製品	+5.7	薬剤溶出バルーンの適応拡大・市場拡大 末梢用バルーンカテーテル製品が好調

## 医薬品：対前期比 +6.2億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

経口剤	▲19.6	選定療養により数量は増加した一方、品目整理により 全体での販売数量は減少 薬価下落も引き続き影響
外用剤・貼付剤	▲15.9	販売数量減少
注射剤・輸液	+47.7	抗菌薬の限定出荷解除、BS製品、プレフィルドシリンジ 製品の販売量増加

# ①医療関連セグメント（国際）売上高

売上高	2024年度	2025年度	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
	3Q	3Q		
国際事業	2,005.0	2,110.5	+105.4 +5.3%	2,894.1 72.9%
B2B(他社ブランド)	240.1	269.4	+29.3 +12.2%	355.9 75.7%
ニプロブランド	1,764.9	1,841.0	+76.0 +4.3%	2,538.2 72.5%
米州	758.4	819.9	+61.5 +8.1%	1,060.1 77.3%
欧州	388.7	404.6	+15.9 +4.1%	562.1 72.0%
アジア	368.6	349.0	▲19.5 ▲5.3%	536.2 65.1%
中国	249.1	267.3	+18.1 +7.3%	379.8 70.4%

アジアを中心に売上債権回収を優先していることや、昨年の大型入札の反動減の影響はあるものの、ダイアライザやB2Bの好調がカバーし通期では前年比増加、予想並み。

## B2B（他社ブランド）：対前期比+29.3億円

◆主な増減要因

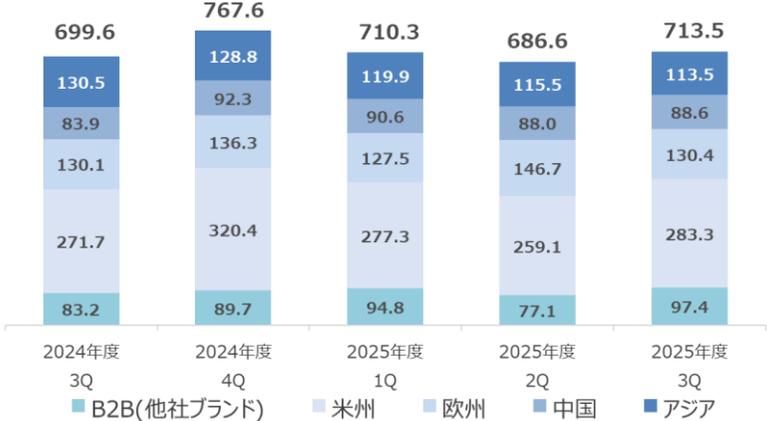
注射針類	米州・欧州における安全機構付き採血セットの販売好調
糖尿病関連製品	GLP-1向けの特種針が競合製品の台頭により需要鈍化 ※通期では前年並みの予想

## ニプロブランド：対前期比+76.0億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

米州	+61.5	ダイアライザ	大型契約、メキシコにて入札獲得により増加
		透析機器	大型契約により増加
		注射剤・輸液	大型契約により増加
欧州	+15.9	ダイアライザ	ATA・HXダイアライザの販売好調
		透析装置	西欧諸国・アフリカにて販売好調
		その他透析関連製品	西欧諸国において血液回路の販売好調
		注射剤・輸液	西欧諸国において透析液の販売好調
アジア	▲19.5	ダイアライザ	インドネシアで政策の影響によりシングルユース化がスローペースとなり顧客の在庫調整が継続 パキスタンで売上債権回収を優先し販売数量抑制
		透析装置	インド、中東における大型入札の反動により減少
中国	+18.1	ダイアライザ	集中購買が本格的に開始され販売数量が増加
		透析センター	患者数増加、透析センター拡大

四半期別売上高推移



## ② 医薬関連セグメント 売上高

売上高	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
医薬関連事業	589.9	589.7	▲0.1 ▲0.0%	863.7 68.3%
ジェネリック品	258.2	252.7	▲5.4 ▲2.1%	318.7 79.3%
先発品・長期収載品	244.6	260.1	+15.5 +6.3%	430.6 60.4%
OTC・原薬・試作等	31.5	19.2	▲12.2 ▲39.0%	37.5 51.3%
JMIファーマ	55.4	57.5	+2.0 +3.8%	76.9 74.9%

四半期別売上高推移



### ジェネリック品：前年対比 ▲5.4億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

注射剤	+6.2	主力抗がん剤の受注増 *前四半期対比：+13.1億円 新規抗がん剤の販売伸長
経口剤	▲10.0	受注減 *前四半期対比：ほぼ横ばい
外用剤	▲1.6	受託終了品目の影響 *前四半期対比：+2.3億円 受託終了前の顧客在庫積上

### 先発品・長期収載品：前年対比 +15.5億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

注射剤	+19.9	既存品目の受注増、価格転嫁の実施 *前四半期対比：+7.9億円 新規受託品の販売伸長
経口剤	▲1.2	選定療養制度の影響を受けた長期収載品の受注減 *前四半期対比：+9.5億円 新規受託品の販売伸長
外用剤	▲3.2	受注減 *前四半期対比：+1.8億円 需要回復による受注増

### OTC・原薬・試作等：前年対比 ▲12.2億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

外用剤	▲12.7	受託終了品目の影響 *前四半期対比：ほぼ横ばい
-----	-------	----------------------------

# ③ファーマパッケージングセグメント 売上高

売上高	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
ファーマパッケージング事業	451.0	394.5	▲56.4 ▲12.5%	567.9 69.5%
日本	109.6	113.6	+3.9 +3.6%	145.9 77.9%
海外	341.3	280.9	▲60.4 ▲17.7%	422.0 66.6%
欧州	208.8	184.9	▲23.8 ▲11.4%	286.5 64.6%
アメリカ	101.2	73.1	▲28.1 ▲27.8%	117.1 62.5%
中国	19.3	13.4	▲5.8 ▲30.5%	4.3 311.9%
インド	11.9	9.3	▲2.5 ▲21.6%	13.9 67.3%

四半期別売上高推移



## 日本：対前期比 +3.9億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

日本 +3.9 ガラス管、歯科領域向け製品と製剤同梱用医療機器（注射セット）の売上が増加

## 海外：対前期比 ▲60.4億円

◆主な増減要因 \*単位：億円

欧州 ▲23.8 カートリッジは販売好調であった一方、前年度に好調であった滅菌済シリンジは新規参入企業の影響を受け売上が減少

アメリカ ▲28.1 バイオ医薬品関連の高付加価値ガラス管の販売が順調に推移したものの、バイアルでは依然として世界的なガラス容器の在庫調整の影響を受け売上が減少



# Appendix

# 為替レート / 為替感応度 / 製品分類表

## <期中平均レート>

	FY2024				FY2025				計画
	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	
¥/USD	149.88	154.06	151.59	152.24	151.21	147.48	147.78	-	139.00
¥/EUR	162.15	166.12	164.61	164.36	159.35	162.24	165.57	-	158.00
¥/CNY	20.74	21.25	21.05	21.12	20.75	20.34	20.48	-	20.00

## <期末日レート>

	FY2024 12月末	FY2025 12月末
¥/USD	158.18	156.56
¥/EUR	164.92	184.33
¥/CNY	21.67	22.36

## <1円変動による年間影響額>

単位：億円	売上高	営業利益
¥/USD	10.1	0.5
¥/EUR	6.0	2.3
¥/CNY	18.4	8.4

## <製品分類表>

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針）他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカヌー 他
検査製品	ネオチューブ 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
AT関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他

医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他

ファーマパッケージング区分	
ガラス管関連	医薬用ガラス管、非医療用ガラス管
ガラス アンプル	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
ガラス バイアル	バイアル（ブローバック、スクルー等）
ガラス シリンジ	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用ガラス
その他	ガラス容器その他、特殊ガラス容器、ガラス カートリッジ、その他など

# セグメント別・製品群別の売上高

製品	セグメント	単位：億円					合計
		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業		
医療機器	2025年度3Q	2,874.8	-	(※3) 33.8	-	2,908.7	
	2024年度3Q	2,766.5	-	(※3) 32.9	-	2,799.4	
医薬品	2025年度3Q (※1)	1,004.7 (※2)	589.7	8.4	-	1,602.9	
	2024年度3Q (※1)	974.3 (※2)	591.0	5.0	-	1,570.4	
ファーマパッケージング	2025年度3Q	-	-	351.5	-	351.5	
	2024年度3Q	1.7	-	411.9	-	413.6	
その他	2025年度3Q	0.1	-	0.7	8.9	9.7	
	2024年度3Q	0.0	-	1.1	8.1	9.2	
合計	2025年度3Q	3,879.7	589.7	394.5	8.9	4,873.0	
	2024年度3Q	3,742.6	591.0	451.0	8.1	4,792.8	

(※1) 自社ジェネリック医薬品

(※2) 受託製造医薬品

(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

# セグメント別・地域別の売上高

地域	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
日本	2025年度3Q	<b>1,772.6</b>	<b>527.8</b>	<b>113.9</b>	<b>8.8</b>	<b>2,423.3</b>
	2024年度3Q	1,740.2	530.0	109.9	8.1	2,388.4
海外計	2025年度3Q	<b>2,107.0</b>	<b>61.9</b>	<b>280.5</b>	<b>0.1</b>	<b>2,449.7</b>
	2024年度3Q	2,002.3	60.9	341.0	-	2,404.3
米州	2025年度3Q	<b>898.5</b>	-	<b>68.7</b>	<b>0.1</b>	<b>967.4</b>
	2024年度3Q	826.6	-	98.5	-	925.3
欧州	2025年度3Q	<b>511.4</b>	<b>3.8</b>	<b>186.3</b>	-	<b>701.6</b>
	2024年度3Q	478.2	2.4	205.5	-	686.3
中国	2025年度3Q	<b>269.9</b>	<b>0.1</b>	<b>14.4</b>	-	<b>284.5</b>
	2024年度3Q	252.1	0.2	20.7	-	273.1
その他アジア	2025年度3Q	<b>427.2</b>	<b>57.9</b>	<b>10.9</b>	-	<b>496.1</b>
	2024年度3Q	445.2	58.2	16.1	0.0	519.5
合計	2025年度3Q	<b>3,879.7</b>	<b>589.7</b>	<b>394.5</b>	<b>8.9</b>	<b>4,873.0</b>
	2024年度3Q	3,742.6	591.0	451.0	8.1	4,792.8

# 製品別売上高（1）

	全社				海外				日本			
	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率
単位：億円												
【医療機器】												
ダイアライザ	799.1	835.6	+36.4	+4.6%	623.9	667.2	+43.2	+6.9%	175.1	168.4	▲6.7	▲3.8%
透析機器	224.0	228.8	+4.8	+2.1%	171.6	182.5	+10.8	+6.3%	52.3	46.3	▲6.0	▲11.5%
その他透析関連	458.3	492.8	+34.5	+7.5%	392.0	425.2	+33.1	+8.5%	66.3	67.6	+1.3	+2.1%
<b>透析関連製品計</b>	<b>1,481.5</b>	<b>1,557.3</b>	<b>+75.8</b>	<b>+5.1%</b>	<b>1,187.6</b>	<b>1,274.9</b>	<b>+87.2</b>	<b>+7.3%</b>	<b>293.8</b>	<b>282.4</b>	<b>▲11.3</b>	<b>▲3.9%</b>
注射針類 (※1)	443.3	480.9	+37.6	+8.5%	296.7	316.5	+19.7	+6.7%	146.5	164.4	+17.8	+12.2%
バスキュラー関連製品	249.4	266.7	+17.2	+6.9%	62.2	72.5	+10.2	+16.5%	187.1	194.2	+7.0	+3.7%
輸液関連製品	180.5	185.7	+5.2	+2.9%	74.9	75.4	+0.5	+0.7%	105.6	110.3	+4.6	+4.4%
検査製品 (※1)	57.9	56.6	▲1.3	▲2.3%	32.4	28.2	▲4.1	▲12.9%	25.5	28.3	+2.8	+11.2%
糖尿病関連製品	101.9	90.0	▲11.9	▲11.7%	92.7	79.8	▲12.9	▲14.0%	9.1	10.1	+1.0	+11.6%
AT関連製品 (※2)	73.6	73.9	+0.2	+0.4%	18.2	18.0	▲0.2	▲1.3%	55.3	55.8	+0.5	+0.9%
その他	207.2	190.7	▲16.5	▲8.0%	122.2	104.0	▲18.1	▲14.9%	85.0	86.6	+1.6	+2.0%
<b>部門計</b>	<b>2,795.6</b>	<b>2,902.1</b>	<b>+106.4</b>	<b>+3.8%</b>	<b>1,887.3</b>	<b>1,969.6</b>	<b>+82.2</b>	<b>+4.4%</b>	<b>908.3</b>	<b>932.5</b>	<b>+24.2</b>	<b>+2.7%</b>
【医薬品(自社)】												
経口剤	368.3	348.7	▲19.6	▲5.3%	0.1	0.1	+0.0	+5.6%	368.1	348.5	▲19.6	▲5.3%
注射剤・輸液	458.3	530.4	+72.1	+15.7%	110.4	134.9	+24.4	+22.1%	347.8	395.5	+47.6	+13.7%
外用剤・貼付剤	60.1	43.4	▲16.6	▲27.7%	-	-	-	-	60.1	43.4	▲16.6	▲27.7%
その他・体外診断薬等	87.5	82.0	▲5.5	▲6.3%	2.6	2.1	▲0.4	▲16.1%	84.9	79.8	▲5.0	▲6.0%
<b>部門計</b>	<b>974.3</b>	<b>1,004.7</b>	<b>+30.3</b>	<b>+3.1%</b>	<b>113.2</b>	<b>137.3</b>	<b>+24.0</b>	<b>+21.2%</b>	<b>861.1</b>	<b>867.4</b>	<b>+6.3</b>	<b>+0.7%</b>
【再生医療】												
再生医療等製品	3.7	6.5	+2.7	+72.6%	-	-	-	-	3.7	6.5	+2.7	+72.6%

(※1) 当期より「検査製品」に含まれていた「採血針等」を「注射針類」に変更しています。

(※2) 事業部名称変更に伴い「SD関連製品」を「AT（Advanced Therapy）関連製品」へ名称変更しています。

# 製品別売上高（2）

		全社				海外				日本			
		2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率	2024年度 3Q	2025年度 3Q	増減額	増減率
単位：億円													
[ 医薬品(受託) ]	経口剤	218.8	207.8	▲11.0	▲5.0%	0.4	0.2	▲0.1	▲36.7%	218.4	207.5	▲10.8	▲5.0%
	注射剤・輸液	259.6	289.1	+29.5	+11.4%	4.1	3.1	▲0.9	▲23.4%	255.4	285.9	+30.4	+11.9%
	外用剤・貼付剤	42.7	27.3	▲15.4	▲36.1%	0.4	0.3	▲0.1	▲33.3%	42.2	27.0	▲15.2	▲36.1%
	その他・体外診断薬 等	19.3	16.3	▲3.0	▲15.5%	+0.4	0.6	+0.1	-	18.9	15.7	▲3.1	▲16.9%
	<b>部 門 計</b>	<b>540.5</b>	<b>540.6</b>	<b>+0.0</b>	<b>+0.0%</b>	<b>5.4</b>	<b>4.3</b>	<b>▲1.0</b>	<b>▲20.0%</b>	<b>535.1</b>	<b>536.2</b>	<b>+1.1</b>	<b>+0.2%</b>
[ 医薬品(JMIP) ]	経口剤	54.9	56.9	+1.9	+3.6%	54.9	56.9	+1.9	+3.6%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.5	0.6	+0.1	+19.7%	0.5	0.6	+0.1	+19.7%	-	-	-	-
	<b>部 門 計</b>	<b>55.4</b>	<b>57.5</b>	<b>+2.0</b>	<b>+3.8%</b>	<b>55.4</b>	<b>57.5</b>	<b>+2.0</b>	<b>+3.8%</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
[ ファーマパッケージング ]	ガラス管関連	100.3	92.4	▲7.9	▲7.9%	81.2	72.2	▲8.9	▲11.1%	19.1	20.1	+1.0	+5.6%
	ガラス アンブル	61.7	58.1	▲3.5	▲5.8%	61.6	58.0	▲3.5	▲5.8%	0.1	0.1	+0.0	▲0.1%
	ガラス バイアル	123.1	83.6	▲39.5	▲32.1%	106.5	69.6	▲36.9	▲34.6%	16.5	13.9	▲2.6	▲15.7%
	ガラス シリンジ	77.0	56.1	▲20.9	▲27.1%	76.9	55.8	▲21.0	▲27.3%	0.1	0.2	+0.1	+82.1%
	ゴム栓・栓体類	10.5	11.7	+1.1	+11.4%	0.0	0.0	+0.0	+157.6%	10.5	11.6	+1.1	+11.1%
	プラスチック容器	15.3	16.0	+0.6	+4.4%	0.0	-	+0.0	▲100.0%	15.3	16.0	+0.6	+4.5%
	魔法瓶	4.3	4.4	+0.1	+2.8%	-	-	-	-	4.3	4.4	+0.1	+2.8%
	その他	21.1	29.0	+7.8	+37.2%	16.1	24.5	+8.4	+52.0%	4.9	4.4	▲0.5	▲10.9%
	<b>部 門 計</b>	<b>413.6</b>	<b>351.5</b>	<b>▲62.0</b>	<b>▲15.0%</b>	<b>342.5</b>	<b>280.4</b>	<b>▲62.1</b>	<b>▲18.1%</b>	<b>71.1</b>	<b>71.1</b>	<b>+0.0</b>	<b>+0.0%</b>
[ その他 ]	生産機械販売・不動産賃貸	9.2	9.7	+0.5	+5.8%	0.2	0.3	+0.1	+45.4%	8.9	9.3	+0.4	+4.7%
	<b>連 結 合 計</b>	<b>4,792.8</b>	<b>4,873.0</b>	<b>+80.2</b>	<b>+1.7%</b>	<b>2,404.3</b>	<b>2,449.7</b>	<b>+45.3</b>	<b>+1.9%</b>	<b>2,388.4</b>	<b>2,423.3</b>	<b>+34.8</b>	<b>+1.5%</b>

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で  
入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。



すべての  
いのちに、  
よろこびを。